

<補足説明>

■国連マークと JC マークの深い関係

USJC（アメリカ）は、第二次世界大戦時に、合衆国政府の戦争遂行の国策に積極的に協力し、USJC 会員の 85%を軍務につかせることに成功し、それによって USJC と合衆国政府の強い信頼関係が築かれた。

加えて第二次世界大戦終結直前、合衆国政府は国連創設のために尽力し、その際設立準備委員会のメンバーとして活躍したのが、USJC 会員で後の合衆国副大統領となったロックフェラー・ジュニアだった。またロックフェラーは約 18 エーカー（22000 坪）の土地をアメリカ合衆国に寄付することで、国連をニューヨークの現在地に誘致することに成功したのだった。そして、JCI は国連創設以来、国連の経済社会委員会とユニセフの理事（ステイタス II/B）としての地位を占めることとなった。

このような歴史を背景に、JCI は国連関係機関以外の世界的 NGO で唯一、国連ロゴの使用を許可されている組織である。

■JCI（国際青年会議所）に対する国際連合（UN）経済社会理事会（ECOSOC）協議資格昇格について

1954 年 JCI（国際青年会議所）は、国際連合（国連：UN）の総会直結の主要理事会の一つである経済社会理事会（ECOSOC）における「Special（特殊協議資格）」を取得し、国連との間で相互利益的な作業関係を構築してきた。

2011 年 7 月 25 日、経済社会理事会において協議資格について再分類をした結果、JCI は現在取得資格の一段階上の資格であり、国連における NGO の最高基準資格である「General（総合協議資格）」を取得することが認められた。

この達成は全世界の JC メンバーがこの世界をより良いものにしようとするための活動と協力がなければ実現できなかったことである。

<国連における経済社会理事会（ECOSOC）の協議資格>

①General（総合協議資格）・・・経済社会理事会およびその補助機関のほとんどの活動に関係する NGO に付与。

「General」は約 150 の大規模な国際 NGO に付与されており、国連理事会に進言することができる。

②Special（特殊協議資格）・・・経済社会理事会の一部の活動分野だけについて特別の能力と関心を有する NGO に付与。

③Roster（ロスター協議資格）・・・場合によって経済社会理事会あるいはその補助機関の活動に有用な貢献と用いる NGO に付与。

★協議資格は、国連憲章第 71 条および経済社会理事会決議 1996/31 に基づき、取得申請・審査を経て、経済社会理事会がその活動に有用な貢献をなしうると判断した NGO に認められるものである。